

議会改革推進特別委員会 第4回資料

令和元年5月31日（金）午前9時～

○ 追加提案のあった検討項目一覧

番号	提案委員・会派	項目	備考	追加の可否
1	大西委員	議員定数、議員報酬の見直し	※11、12と一部重複	
2		十分な審議時間の確保	会期を長くして、審議が尽くされるまでの時間を確保する。	
3		議選監査委員、審議会の委員選任制度の見直し		
4	日本共産党 奈良市会 議員団	議会の災害時対応マニュアルの策定	<p>①定めのない自治体が半数に及ぶ</p> <p>②災害時に議会がどう動くかあらかじめ決めておく必要がある</p> <p>③首長の専決処分が多発した場合に議会チェック機能が発揮できないおそれがある</p> <p>④対応マニュアルがないと議会と執行部の間で情報が錯綜するおそれがある</p> <p>⑤執行部が「危機管理監」という部局を新たに設置し災害への備えを強化している</p> <p>以上の現状を踏まえ、大規模災害により議会が機能不全に陥らないようマニュアルを策定する。</p>	
5	奈良市民 結の会 市議会	宿泊旅費の見直し		
6		議員の地域自治協議会長、自治連合会長への就任の禁止		
7		議会報告会の見直し		
8	松下委員	質問時間の持ち時間制の見直し	代表質問時間と個人質問時間を一本化し、代表質問の人数規定を廃止する。 質問時間は片道保障とし、一括質問一括答弁方式、一問一答方式、2方式の併用の3つからの選択制とする。	
9		常任委員会数を踏まえた会派規定への見直し	全常任委員会に会派所属議員が所属することとなるよう会派規定を改める。	
10		委員外議員の発言権の見直し	委員長の許可制ではなく、年〇時間というような委員外議員の発言の持ち時間制を導入する。	
11	革新新政会	議員定数の見直し	平成20年12月17日の改正で現在の定数となっている中で、昨今の情勢を鑑み、次の改選までに見直しを行う。	
12		議員報酬の見直し	職員の管理職加算が段階的に廃止されることを踏まえ、報酬審議会への依頼も含めて、議員報酬の加算額について見直しを行う。	